

## 2021年度決算概況について

北海道労働金庫の2021年度(令和3年度)決算について、6月24日開催予定の当金庫第39回通常総会で報告いたしますので、その概要について下記のとおりお知らせいたします。

2021年度決算については、前年度との比較で減収減益となりました。

当金庫は、ご利用いただく皆様のお役に立てるサービスの提供を行えるよう、引き続き健全経営に努めてまいります。

### 記

#### 1. 調達・運用の状況

(単位：百万円・%)

		2021年度(A)	2020年度(B)	前年比(A-B)	計画(C)	計画比(A-C)
預 金 (含 譲渡性)	期末残高	1,081,180	1,054,731	26,448	1,060,533	20,647
	期中平残	1,082,455	1,049,123	33,331	1,073,169	9,286
	期中利回	0.02	0.03	△ 0.00	0.02	△ 0.00
貸 出 金	期末残高	784,491	759,648	24,842	766,329	18,162
	期中平残	772,319	752,017	20,301	762,808	9,511
	期中利回	1.45	1.50	△ 0.04	1.47	△ 0.02
有価証券	期末残高	107,253	103,019	4,233	115,223	△ 7,969
	期中平残	103,649	94,568	9,080	110,231	△ 6,581
	期中利回	0.38	0.43	△ 0.05	0.38	△ 0.00
預 貸 率	期末残高	72.55	72.02	0.53	72.25	0.30
	期中平残	71.34	71.68	△ 0.33	71.07	0.26
預 証 率	期末残高	9.92	9.76	0.15	10.86	△ 0.94
	期中平残	9.57	9.01	0.56	10.27	△ 0.69

#### (1) 預 金

預金残高は、個人預金における退職金獲得の成果などにより、前年比264億48百万円増加(増加率2.50%)して1兆811億80百万円となりました。

#### (2) 貸 出 金

貸出金残高は、個人融資における住宅ローンや轟ローンの新規獲得の成果などにより、前年比248億42百万円増加(同3.27%)して7,844億91百万円となりました。

(3) 有価証券

有価証券残高は、前年比 42 億 33 百万円増加(同 4.10%)して 1,072 億 53 百万円となりました。

2. 損益の状況

(単位：百万円)

	2021 年度 (A)	2020 年度 (B)	前年比 (A-B)	計画 (C)	計画比 (A-C)
経常収益	14,005	14,194	△ 189	13,836	168
経常費用	12,421	12,405	15	12,846	△ 425
経常利益	1,584	1,789	△ 205	990	594
実質業務純益	1,624	1,895	△ 270	1,089	535
コア業務純益	1,592	1,916	△ 324	1,089	503
特別利益	5	49	△ 43	—	5
特別損失	54	72	△ 18	15	38
税引前当期純利益	1,535	1,766	△ 230	974	561
当期純利益	1,162	1,194	△ 31	715	446

※ 消費税の会計処理につきましては、従来税込方式としていましたが、「収益認識に関する会計基準」適用に伴い、2021 年度数値は税抜方式で表示しています (2020 年度数値及び計画数値は税込方式で表示)。

- (1) 経常収益は、資金運用収益において貸出金利息や有価証券などの余裕金利息が減少したこと、および住宅ローンに係る取扱手数料や団信社員配当金が減少したことなどにより、前年比 1 億 89 百万円減少(同△1.33%)して 140 億 5 百万円となりました。
- (2) 経常費用は、事業費など経費の増加、有価証券売却損の増加などにより、前年比 15 百万円増加(同 0.12%)して 124 億 21 百万円となりました。
- (3) よって、経常利益は前年比 2 億 5 百万円減少(同△11.45%)して 15 億 84 百万円となり、また実質業務純益は前年比 2 億 70 百万円減少(同△14.24%)して 16 億 24 百万円となりました。
- (4) 特別利益は、前年比 43 百万円減少(同△87.75%)して 5 百万円となりました。  
主な要因は、前年度は職員住宅の売却に伴う利益計上等があったことによるものです。
- (5) 特別損失は、固定資産の減損損失計上額の減少により、前年比 18 百万円減少(同△25.00%)して 54 百万円となりました。
- (6) これらの結果、当期純利益は前年比 31 百万円減少(同△2.59%)して 11 億 62 百万円となりました。

### 3. 主要利回り・諸比率等

(単位：％)

	2021 年度 (A)	2020 年度 (B)	前年比 (A-B)	計画 (C)	計画比 (A-C)
コア業務純益 ROA	0.13	0.17	△ 0.03	0.09	0.04
税引前当期純利益 ROA	0.13	0.15	△ 0.02	0.08	0.04
OHR(業務粗利益経費率)	85.24	82.60	2.63	89.81	△ 4.57
自己資本比率	8.53	8.69	△ 0.16	8.69	△ 0.16

※ 通常総会で剰余金処分(案)が決議された場合の数値です。

- (1) 収益性を示す指標である ROA(税引前当期純利益 ROA)は、税引前当期純利益の減少により、前年比 0.02 ポイント悪化しました。  
また、効率性を示す指標である OHR は、コア業務純益の減少により、前年比 2.63 ポイント悪化しました。
- (2) 自己資本比率は、自己資本額は増加したものの、貸出金の増加などによるリスクアセットが増加したこと等により、前年比で 0.16 ポイント低下し、8.53%となりました。

以 上